

和歌山縣報

第九十四號

大正二年六月二十四日

○縣令

○和歌山縣令第四十三號

明治四十四年六月縣令第三〇號銃砲火藥類取締法令執行規則中左ノ通追加ス

大正二年六月二十四日

和歌山縣知事 川村竹治

第二十三條第二項ノ次ニ左ノ一項ヲ加フ

第一項ニ依リ許可ヲ受ケルトキハ其ノ運搬携帶中該許可證ヲ携帶スヘシ

○和歌山縣令第四十四號

明治二十二年五月縣令第四十七號射的取締規則中左ノ通改正ス

大正二年六月二十四日

和歌山縣知事 川村竹治

第二條中「市町村長連署ノ上」ノ八字ヲ削ル

○告示

○和歌山縣告示第二百四十六號

明治四十二年七月本縣告示第二百十八號染織講習會規程ニ依リ左記ノ通染織講習會ヲ開設ス

大正二年六月二十四日

開會期日

自七月一日十五日間

和歌山縣知事

川村竹治

開設場所

西牟婁郡江住村

講習科目

染色法實習

○通牒照會

○通牒

○勅第六七〇九號一

大正二年六月二十四日

內務部長

郡市長殿

縣立農事試驗場長殿

町村役場御中

北米合衆國へ輸出スル植物類ノ病害蟲ニ對スル検査ハ從來輸出地官憲ニ於テ嚴密ニ之ヲ施行シ其ノ附着ナキ旨ノ證明書ヲ交付スルコト、相成居候處今回米國ニ於テハ輸入植物検査法施行規則ヲ改正シ輸出國ニ於ケル検査證明ハ中央政府ノ検査官ニ於テ之ヲ行ヒタルモノニアラサレハ輸入ヲ許可セサルコト、相成候結果本邦ニ於テモ其ノ趣旨ニ基キ七月一日以降北米合衆國へ輸出スヘキ植物類ニ對シテハ左記施設方法ヲ以テ適法ノ検査證明ヲ施行スルコト、相成候趣其ノ筋ヨリ來牒ノ次第有之候條右様御了知ノ上同國へ輸出スルモノハ最寄検査官詰所ニ於テ検査證明ヲ受クヘキ様示達相成度尙參考ノ爲本邦ニ於ケル植物輸出當業者ニ對スル注意事項添付致候

追テ輸出植物検査證明書様式宣言書様式等ハ最寄検査官詰所又ハ本縣內務部勸業課ニ就キ承知

スヘキ様併テ示達相成度

記

一、輸出植物檢疫施設方法

農商務省農務局農產課主管事務中ニ「輸出植物ノ檢疫ニ關スル事項」ヲ追加シ全國ニ於ル輸出植物檢疫證明ノ統一及其ノ他檢疫ニ關スル一切ノ事務ヲ掌リ又神奈川縣農事試驗場構内ニ農商務省輸出植物檢疫官横濱詰所ヲ兵庫縣神戸市海岸通ニ農商務省輸出植物檢疫官神戸詰所ヲ置キ本間土生津兩檢疫官ハ横濱ニ小野町田兩檢疫官ハ神戸ニ於テ桑名農商務輸出植物檢疫官統轄ノ下ニ各港ニ於ル輸出植物檢疫證明ノ事務ヲ取扱フ

二、輸出植物檢疫證明ノ方法

輸出荷造ノ都度檢疫ヲ行フコト、シ檢疫官ニ於テ危險ナル病害蟲ノ附着ナキモノト認メ尙念ノ爲青酸瓦斯燻蒸等ノ消毒ヲ施行シメル上證明書ヲ交付ス其ノ證明書ハ之ヲ原證明書及寫證明書ノ二トナシ原證明書ニハ檢疫日付檢疫官氏名生産地生産者氏名及該植物ハ檢疫官ニ於テ檢疫シ危險ナル病害蟲ナキコトヲ信スル旨ヲ記載シ檢疫官自署シ本省檢疫官詰所ノ捺印ヲ爲シ米國政府ノ輸入許可證番號植物ノ内容ノ一般性質數量輸出者氏名住所及米國ニ於ル荷受人ノ氏名住所ヲ附記スルモノトシ寫證明書ハ該包装中ノ植物ハ何月何日何檢疫官ニ於テ檢疫シタルモノニシテ危險ナル病害蟲ナキコトヲ信スル旨、生産地名及生産者氏名ヲ記載シ本省檢疫官詰所ノ捺印ヲ爲シ其ノ包装中ノ植物ニ付原證明書ト同様ノ附記ヲ爲スモノトス（檢疫官ノ自署ヲ要セス）
原證明書ハ荷送狀毎ニ寫證明書ハ各荷造毎ニ添付スヘキモノトス
次ニ荷造人ハ確實ニ該植物ノ輸送者ニシテ有害ナル病害蟲ノ附着ナキコトヲ信シ過去生育期節

間ニ何々地ニ生産シ何港ヨリ何地ニ輸出スルモノニシテ容器ニ存スル表記及何檢疫官ニ依ル病害蟲附着ナキコトノ證明ハ眞實ニシテ米國農務省ノ輸入許可ヲ得タルモノナルコトヲ記載シタル荷造人自ラノ宣言書ヲ認メ之ニ本邦駐在米國領事ノ裏書シタルモノヲ荷造狀ニ添付スルモノトス

本邦ニ於ル植物輸出當業者ニ對スル注意事項

北米合衆國ニ於テハ其後更ニ植物檢疫法施行規則ヲ改正シ輸入植物病害蟲ノ取締ヲ一層嚴重ニシ輸出植物檢疫證明ヲ施行セサル國ヨリハ全然植物ノ輸入ヲ許可セサルコト、ナシタル(但シ米國ニ於テ試験ノ目的ニ供用スヘキ植物ニ限リ其ノ數量ヲ制限シ同國農務大臣ノ指定セル港ニ於テ病害蟲檢疫ヲ行ヒ彼ノ地檢疫官ニ於テ病害蟲附着ノ虞ナシト斷定シタル後輸入ヲ許可スルコトアリ)ノミナラス輸出國ニ於ル檢疫證明モ從來ト異リ必ス中央政府ノ施設シタルモノニアラサレハ同國當該官憲ハ全ク承認セサルコト、ナリタルヲ以テ本邦ニ於ケル植物ノ輸出最多キ横濱及神戸港ニ各農商務省輸出植物檢疫官詰所ヲ設ケ本省輸出植物檢疫官ヲシテ檢疫證明事務ヲ取扱ハシムルコト、ナレリ左ニ輸出當業者ニ對スル注意事項ヲ掲クヘシ

一 北米合衆國ニ輸出スル植物ニ對シテハ平素圃場ニ於テ充分ニ病害蟲ノ驅除豫防ヲ勵行シ絶對ニ病害蟲附着ノ虞ナキモノタルコトヲ必要トシ且必ス農商務省指定ノ輸出檢疫證明ヲ經サルヘカラス否サレハ彼ノ地ニ至リ全然陸揚ヲ拒絕セラルヘキコト(從來ハ必スシモ輸出國ノ檢疫ヲ必要トセスシテ彼ノ地官憲ノ檢疫ヲ經テ之カ承認ヲ得ハ輸入セラレタリ)

二、同國ニ輸入スヘキ植物ハ輸出前之ヲ横濱又ハ神戸輸出植物檢疫官詰所ニ送致スヘク同所ニテハ十分ナル檢疫ヲ爲シ尙有償又ハ無償ヲ以テ爲念青酸瓦斯燻蒸等ノ消毒方法ヲ行ヒ危險ナル病

害蟲ノ虞ナシト認メタルモノニ對シテハ甲號様式ノ原證明書及乙號様式ノ寫證明書（甲乙兩號ノ様式畧ス）ヲ交付スルコト

三、甲號様式ノ原證明書ハ一口即荷送狀（インボイス）毎ニ荷送狀ニ添付シ乙號様式ノ寫證明書ハ各荷造毎ニ其ノ荷造ニ添付スヘキコト植物ノ荷造一口一個ヨリ或ル場合ニ於テモ原證明書ヲ荷造ニ添付シ又輸出植物一口ノモノヲ數回ニ分チテ輸出スル場合ニハ毎回原證明書ヲ其ノ荷造狀ニ添付スルコト

四、檢疫證明ヲ了シタル輸出植物ノ荷造人ハ一口即一荷造狀（インボイス）毎ニ宣言書ニ自署シ在帝國 檢疫官所在地ノ米國領事ノ奧書證明ヲ受ケ原證明書ト共ニ荷送狀ニ添付スヘキコト

五、各荷造ノ表面ニハ寫證明書ノ附記事項ヲ明確ニ表記スルコト

六、原證明書ノ附記事項特ニ植物ノ數量ハ寫證明書ト正確ニ符合スヘキハ勿論證明書宣言書ニ記載セル文字等ハ明瞭ニ之ヲ記シ抹殺セサル様注意スヘキコト

○ 辭 令

○大正二年六月二十一日

六級俸下賜

（各 通）

八級俸下賜
月俸四拾圓ヲ給ス

- | | |
|---------|---------|
| 和歌山中學校長 | 野村 浩一 |
| 新宮中學校長 | 寺 内 穎 德 |
| 德義中學校長 | 杉 浦 五 郎 |
| 地方測候所技手 | 酒 井 熊 楠 |

月俸貳拾圓ヲ給ス
 月俸貳拾七圓ヲ給ス
 年俸八百圓下賜
 月俸四拾八圓ヲ給ス
 月手當壹圓ヲ給ス
 月手當參圓ヲ給ス
 月手當貳圓ヲ給ス
 月手當拾八圓ヲ給ス
 年俸百五拾圓下賜
 月俸參拾貳圓ヲ給ス
 月俸拾九圓ヲ給ス
 月俸拾圓ヲ給ス
 月俸七圓ヲ給ス
 月俸貳拾參圓ヲ給ス
 月俸九圓ヲ給ス
 月俸八圓ヲ給ス
 土木技手ヲ命ス

(各通)

地方測候所技手	本間 定
物産陳列場主事	吉田安之助
水産試験場技師	小濱 泰
水産試験場技手	木暮 彌七
水産試験場技手	岡崎忠三郎
水産試験場技手	北川政次郎
水産試験場技手	須賀原 善太郎
水産試験場技手	土井 辰彦
林業技師	藤江 再吉
土木技手	多福 作助
土木工手	大橋信太郎
土木工手	三谷 喬彦
土木工手	大高種次郎
土木技手	鷹栖正治郎
土木工手	下津又次郎
土木工手	松澤 盛一
土木工手	中谷 義英
土木工手	守山房太郎

月俸壹圓ヲ給ス
土木工手ヲ命ス
月俸壹圓ヲ給ス
師範學校助教諭心得兼務ヲ命ス
月手當五圓ヲ給ス

師範學校書記勳七等

尾崎長之助
關本萬次郎

○彙報

○官廳事項

- 増俸 日高郡長渡邊忍ハ六月十九日五級俸下賜セラレタリ
- 陞等 本月十八日東牟婁郡長正七位勳六等吉田稷高等官五等ニ伊都郡長從七位豐永狷介ハ同六等ニ就レモ陞叙セラレタリ
- 任命 本月二十一日内務部長萩亮ハ和歌山地方森林會議員及株式會社和歌山縣農工銀行監理官ヲ理事官佐々木米三郎ハ和歌山地方森林會議員ニ任命セラレタリ

○ 觀 象

大正二年自六月十九日至六月廿一日氣象

(和歌山地方測候所觀測)

種 目	六月十九日		六月二十日		六月廿一日	
	前年	本年	前年	本年	前年	本年
平均氣壓	一四九耗四	七五二耗一	七四七耗九	七五二耗二	七四九耗四	七五〇耗二
平均氣溫	二二度七	二二度一	二〇度五	二三度九	二一度八	二二度二
最高氣溫	二九度〇	二七度八	二二度六	二九度六	二六度三	二八二度
最低氣溫	一八度六	一七度四	一九度〇	一九度六	一七度四	一八度〇
最多風向	北西	南西	北	北西	北西	南
平均風力	一米六	三米一	二米〇	二米四	一米五	三米七
天氣	晴	晴	曇少雨	晴	晴	曇后雨
降水量			〇耗五			五耗〇
記事雜象			朝間並二夜間微雨			晚間月暈ヲ映ズ夕刻ヨリ降雨

大正二年六月二十三日印刷
大正二年六月十四日發行
每月一日六日十一日十五日十八日二十二日二十四日二十七日三十日發行

和歌山縣知事官房

印刷人 和歌山北休翼町六番地 宗地 七
和歌山北休翼町六番地